

## 御提案書

技術分野	①汚染水貯蔵(タンク等)
御提案件名	鋼管埋設処理工法(汚染水・高濃度汚染物質)
御提案者	山本基礎工業株式会社 鈴木 邦彦

## 1 技術等の概要(特徴、仕様、性能、保有者など)

- ① オールケーシング工法(全周回転)でφ3000のmmケーシングチューブでGL-31.5m程度掘削作業を行いケーシングチューブ内の土砂をハンマーグラブにて排土し、ケーシングチューブ内を空洞にします。
- ② 養生管(鋼管φ2700mm 厚みt=27mm L=10m×3本)を溶接ジョイントし、ケーシングチューブ内の底まで挿入します。
- ③ ケーシングチューブと鋼管の隙間は洗い砂を充填しながらケーシングチューブを引抜ます。
- ④ 地下水がある場合は、鋼管挿入時に鋼管内に浮力防止の為に注水した孔内水をスライムバケツ及び吸水材で汲み上鋼管内をドライな状態にします。
- ⑤ 鋼管天端に鉄板蓋を設置し、次の鋼管埋設作業に移行します。
- ⑥ 鋼管埋設作業終了後、鋼管内に汚染水を注水し鉄板上蓋に防水コンクリートを打設します。  
(外蓋内部にグリスかバリウム)
- ⑦ 地中に空いた削孔場所に表土を埋戻し、地表面を整形し汚染水貯蔵作業を完了します。

\* 貯蔵した鋼管内の汚染水の処理後、空洞化した鋼管内には高濃度汚染物質の格納容器として使用出来ます。

補足資料別紙参照

## 2 備考

- ・ 開発・実用化の状況(国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)

特になし

- ・ 開発・実用化に向けた課題・留意点

コストの削減

- ・ その他(特許等を保有している場合の参照情報等)

特許第5172033号